

関係各位

平成21年11月17日

東京学芸大学附属特別支援学校

平成21年度 研究協議会

生涯発達支援学校としての授業実践

—豊かな人間関係をめざした授業づくり—

ごあいさつ

東京学芸大学附属特別支援学校長 朝倉隆司

本校では、昨年度から「生涯発達支援学校としての授業実践」に主題を設定し、生涯発達支援という視点から各学部における授業のあり方や教材教具の開発等に取り組んでまいりました。今年度はサブテーマを「豊かな人間関係をめざした授業づくり」と設定し、生涯発達支援の視点から幼児児童生徒のライフステージに合わせた豊かな人間関係をめざした授業づくりについて検討してきました。

ご多用のことと存じますが、多数の皆様方のご参会をいただき、ご指導・ご助言を賜りますようご案内申し上げます。

期 日 平成22年1月29日(金) 9:00～16:30

会 場 東京学芸大学附属特別支援学校

成美教育文化会館

講 演 発達障害における読字書字の困難とその支援

—生涯発達支援をめざした学習支援のあり方—

東京学芸大学 特別支援科学講座

小池 敏英 教授

日 程

○受付 9:00～9:40 本校正面玄関前

○全体会 9:40～10:10 本校ランチルーム

学校長挨拶/研究概要

○研究授業/公開授業 10:30～11:20 各学部教室及び特別教室

幼稚部	課題遊び「人形遊び」	幼稚部棟	ひかり組	遊戯室
小学部	みんなであくしゅ	音楽フレキシブルホール		
中学部	くらし	中1教室		
	体育Ⅱ	体育館		
	美術	中3教室		
高等部	くらし（生活知識）	高1教室		
	くらし（生活知識）	高2教室他		
	くらし（生活知識）	高3教室他		

* 詳細は当日の資料でご案内致します。

○分科会 12:45～14:45 成美教育会館

【幼稚部】 幼児期の人間関係の発達を促す遊びの授業—人形遊びに着目して—

【概要】 幼児期の「人間関係」は、現行の幼稚園教育要領の5領域の一つにあげられているように定型発達においても重要な観点として扱われてきた。私たちは、知的障害や発達障害のある幼児の人間関係の発達を促す方法として、人形遊びに着目し、授業の中で幼児たちに人形を用いたいくつかの遊び方を示したところ、彼らの自由遊びでの遊び方や幼児間の関係に変化が見られた。人形が幼児にとって他者の認知や理解のための道具となるにはどのような支援が有効かについて討論したい。

<司 会>安永啓司・田口悦津子

<提 案 者>高野裕美・宮井清香・安永啓司

<共同研究者>伊藤良子（東京学芸大学教育実践研究支援センター）

藤野 博（東京学芸大学特別支援科学講座）

【小学部】 子どもたちのコミュニケーションの充実をめざした授業づくりⅡ

【概要】 昨年度は、自閉症教育に特化した「重複学級」と、その他の学級との双方向との交流・通級的授業実践の中、コミュニケーションを主眼においた授業づくりを行った。

今年度、本分科会では、音や音楽・テンポを用い、子ども同士のコミュニケーションを

豊かにすることをねらいとした小学部全体での「みんなであくしゅ」の授業づくりを通じて、学習指導要領の「人間関係の形成」にも関わる、本校教育課程「コミュニケーション関係支援」について、皆様とともに考えたい。

＜司 会＞渡邊貴裕

＜提 案 者＞滝澤千恵子・川井優子・井上 剛

＜共同研究者＞大伴 潔（東京学芸大学教育実践研究支援センター）
奥住秀之（東京学芸大学特別支援科学講座）

【中学部】「豊かな人間関係」につながる指導内容の検討と授業づくり

【概要】中学部では本年度、「くらし」の指導計画を見直すべく取り組んできた。その過程において、中学部段階の生徒たちの「豊かな人間関係」を築く力を育てていくために、おさえたい指導内容についても検討し、授業づくりを行ってきた。本分科会では、その成果について提案し、参会の皆様とともに考えたい。

＜司 会＞原田純二

＜提 案 者＞蓮香美園・野原隆弘

＜共同研究者＞加瀬 進（東京学芸大学特別支援科学講座）
濱田豊彦（東京学芸大学特別支援科学講座）
伊藤友彦（東京学芸大学特別支援科学講座）

【高等部】高等部における人間関係に着目した授業づくり

【概要】学習指導要領の改訂にともない、自立活動において「人間関係の形成」という項目が新設され、その扱いも問われてきている。高等部では、「くらし生活知識」の授業の中で社会生活に必要な「人間関係」に関わる要素について注目し、授業づくりに取り組んできた。本分科会では、社会への移行期である高等部段階での、「人間関係」に関わる授業実践について考えていきたい。

＜司 会＞吉澤洋人

＜提 案 者＞尾高邦生・岩本 仁・伊東久美子・安東恵美

＜共同研究者＞菅野 敦（東京学芸大学教育実践研究支援センター）
橋本創一（東京学芸大学教育実践研究支援センター）

○講 演 15:00～16:30 成美教育会館グリーンホール

＜講師＞小池 敏英教授 東京学芸大学特別支援科学講座

＜演題＞発達障害における読字書字の困難とその支援

—生涯発達支援をめざした学習支援のあり方—

【概要】小学校低学年でひらがな読み困難を示すLD児は、学年が進むにつれて漢字単語の読み書き困難も強くなります。生活に必要な事からや概念は漢字単語で表されるため、漢

字の読み書きの学習支援は重要な支援であるといえます。LD 児の研究を通して漢字単語の読み困難の背景の一部がわかり、支援の手がかりが得られつつあります。私たちは、漢字の学習支援に関する研究の中で、学習課題としての漢字単語の評価、学習環境の設定、子どもの学習習得状況の把握、習得に関する個別情報の学部・学年間の引き継ぎなどの課題に取り組んできました。これらの知見を踏まえて、生涯発達支援をめざした学習支援のあり方について考えていきます。

○費用

資料代:2000円 昼食:800円(お弁当希望者)

* 昼食は、事前に申し込み用紙にて予約をお願いします。

○申し込み方法

・FAX用紙をご利用の上、平成22年1月22日(金)までにご送付ください。

また、E-mailからも申し込むことができます。

・E-mailでの参加申し込みの際は、下記の内容をご記入願います。

- ①「研究協議会参加申し込み」
- ②お名前
- ③ご所属
- ④ご住所
- ⑤電話・FAX番号
- ⑥参加希望分科会
- ⑦お弁当の要・不要、個数

【申し込み・お問い合わせ先】

東京学芸大学附属特別支援学校

〒203-0004 東京都東久留米市氷川台1-6-1

TEL 042-471-5274/FAX 042-471-5275

E-mail: sskenkyu@u-gakugei.ac.jp

<http://ns.yougo.u-gakugei.ac.jp>

○交通案内

